

XMAP3 標準価格・稼働OS

製品名	概要	標準価格(税別)	稼働OS*1	
Windows 開発環境	XMAP3 Developer Version 5*2	画面・帳票開発	Windows, Windows Server	
	XMAP3 Developer 開発支援ユーティリティVersion 5*3	メインフレーム資産流用など開発効率向上のための XMAP3 Developer Version 5の追加ソフトウェア		42,000円
Windows 実行環境	XMAP3 Server Runtime Version 5*4	Windowsサーバー実行用ランタイム、クライアント実行用ランタイム機能、 および定義済み帳票のフォントや印刷レイ、外字フォントなどの変更機能を含む	Windows, Windows Server	
	XMAP3 Client Runtime Version 5*3	クライアント実行用ランタイム	Windows	
	XMAP3 Client 印刷拡張機能 Version 5*3	XMAP3 Client Runtime Version 5に追加して利用するソフトウェアで、 定義済み帳票のフォントや印刷レイ、外字フォントなどを変更する製品		22,000円
	XMAP3 Server Runtime Version 5 with 64bit Adapter*4	XMAP3 Server Runtime Version 5に64bitのCOBOLアプリケーションを 利用するためのアダプタを追加した製品		300,000円～
UNIX 実行環境	XMAP3 Client Runtime Version 5 with 64bit Adapter*3	XMAP3 Client Runtime Version 5に64bitのCOBOLアプリケーションを 利用するためのアダプタを追加した製品	Windows	
	XMAP3 Server Runtime Version 5*4	UNIXサーバー実行用ランタイム	AIX	

- *1 対応OSのバージョンなど詳細につきましてはHCAセンターにお問い合わせください。
 *2 価格はインストールライセンス(1台のパソコンにインストールする場合の価格)です。ライセンスパックも用意しています。Windowsのリモートデスクトップサービス機能などを使用して接続PCから利用する場合には、接続PCの
 台数に応じたアクセスライセンスが別途必要です。
 *3 価格はインストールライセンスです。ライセンスパックも用意しています。
 *4 価格はプロセッサ数ライセンス(使用するプロセッサ[コア]ごとに必要となるライセンス)です。

サポートサービス

XMAP3をより快適に、効果的にご利用いただくための各種サービスを有償で行っております。

商品名	内容
日立サポート360	問題解決の支援、改良版の提供、情報の提供

XMAP3テクニカルサービス

XMAP3テクニカルサービスでは多彩なサービスをご用意しております。

サービス名	概要
データエントリ業務支援サービス	XMAP3を使った業務システムにおいて、画面入力業務の効率化を図るための提案と技術支援を行うサービスです。
資産分析支援サービス	XMAP3のマップ資産を解析し、プログラム中のデータ項目とマップ定義の各種情報などの関連性をわかりやすくドキュメントで提供するサービスです。
導入教育	XMAP3について座学形式の講義、および実習を行うサービスです。
コンサルテーション	お客様のシステム要件に応じてXMAP3を前提としたシステム構築のためのコンサルテーションを行うサービスです。
画面設計・帳票設計サービス	お客様からの要望(画面/帳票仕様)をもとに、画面設計、帳票作成、および画面帳票のサンプルを提供するサービスです。
問い合わせサービス(技術支援)	XMAP3に関する技術的な問い合わせに回答するサービスです。

・Adobe と Reader は、米国およびその他の国におけるAdobe社の登録商標または商標です。・IBM、およびAIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。・Microsoft、Windows およびWindows Serverは、マイクロソフト企業グループの商標です。・UNIXは、The Open Groupの登録商標です。・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。



XMAP3は、ISO9001の認証を受けた品質マネジメントシステムで開発されました。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。 ●製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
 なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- 本カタログに記載されている製品機能・仕様・価格は、2022年4月現在のものです。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<https://www.hitachi.co.jp/soft/xmap3/>
- インターネットでのお問い合わせは
<https://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>
- 電話でのお問い合わせは HCAセンターへ
 ☎ 0120-55-0504 受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日・当社休日を除く)

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部

Windows/UNIX対応
画面・帳票サポートシステム XMAP3

HITACHI
Inspire the Next

XMAP3



いつもの画面や帳票を、新しいシステムで。



CD-011 2022.4

©Hitachi, Ltd. 2022. All rights reserved.

システム環境が変わっても、画面・帳票はそのままで。

企業情報システムに押し寄せるオープン化、仮想化の波。

しかし企業の基幹業務では、インターフェースを急激に変化させるとシステム利用者への影響が大きいので、

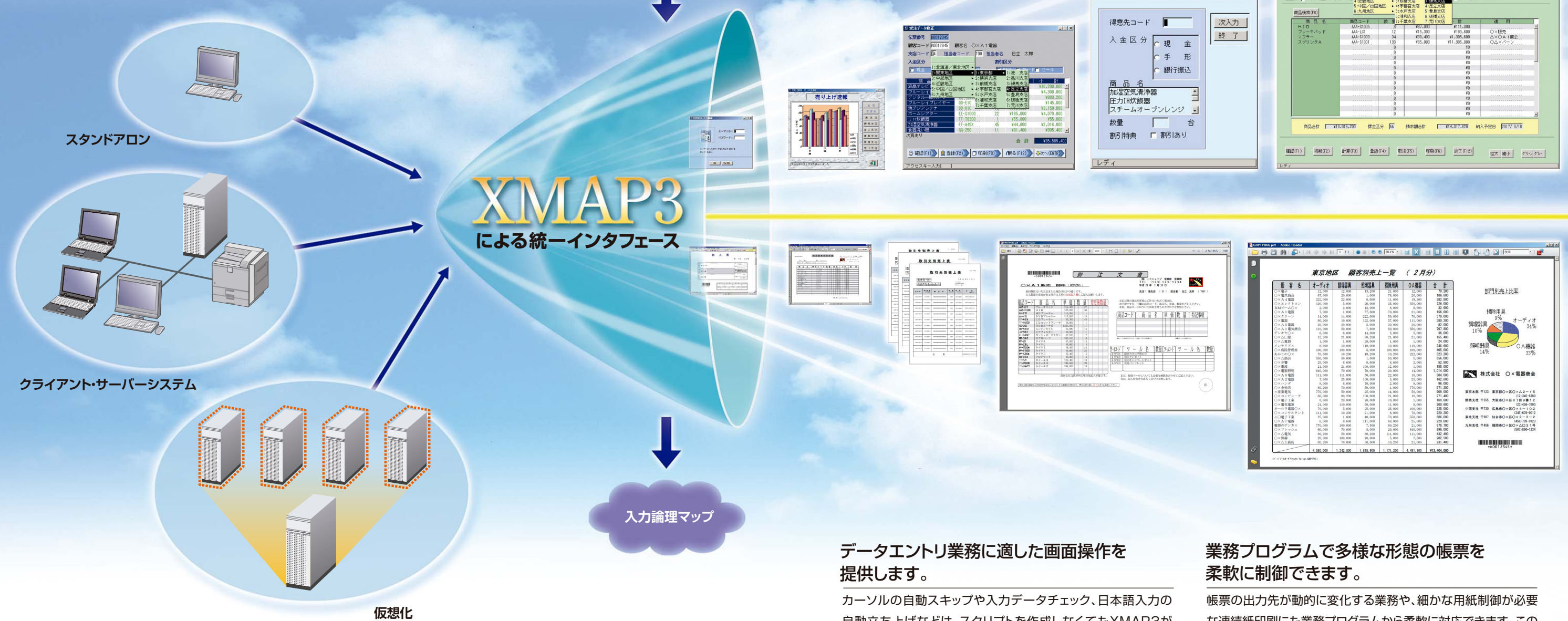
画面や帳票は継続的に利用したいというお客さまも少なくありません。

画面・帳票サポートシステム「XMAP3」は、メインフレームと同等のインターフェースで

オープンシステムに対応する画面・帳票を作成できます。

既存資産を活用しながらCOBOLで効率よく基幹業務を構築し、

さまざまなシステムにおける快適なデータエントリと柔軟な帳票運用を実現します。



さまざまな環境の画面・帳票を統一した手法で作成できます。

XMAP3では、システム構成がスタンドアロン、クライアント・サーバーシステム、仮想化と移り変わっても、同じレイアウト定義とプログラムインターフェースで画面・帳票を利用できます。このため既存のプログラムロジックの変更も最小限に抑えられ、操作性や安定性を維持した新システムを効率よく構築できます。

データエントリ業務に適した画面操作を提供します。

カーソルの自動スキップや入力データチェック、日本語入力の自動立ち上げなどは、スクリプトを作成しなくてもXMAP3が実現します。このため、メインフレームなどで利用していたCOBOLプログラムなどの既存資産を生かしながら、効率よく画面を開発できます。また、キーボード入力で作成するCUI(キャラクターユーザーインターフェース)画面も利用できます。

業務プログラムで多様な形態の帳票を柔軟に制御できます。

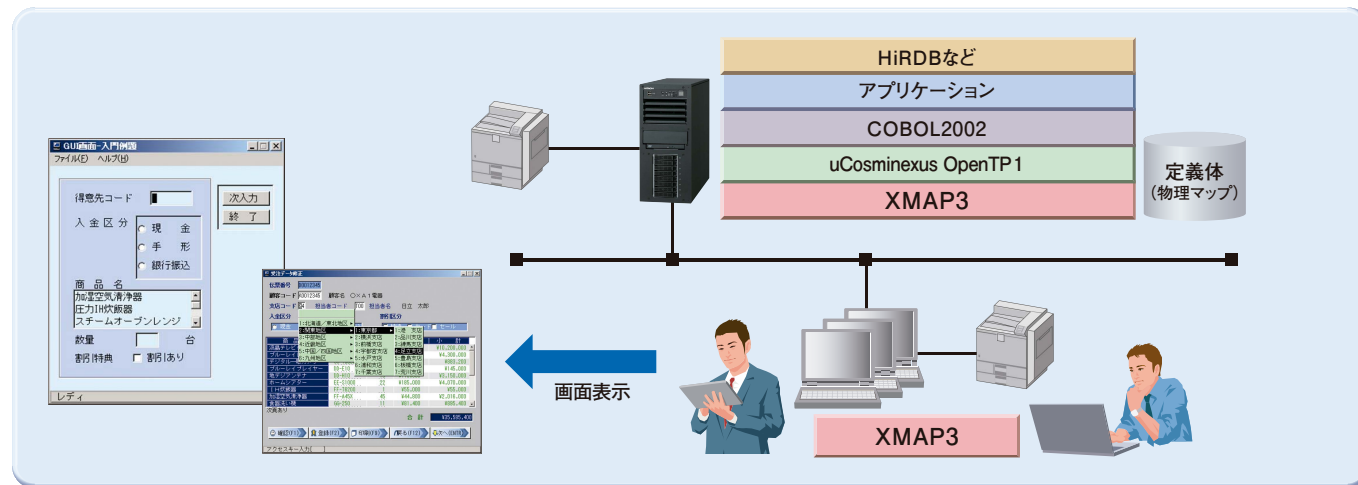
帳票の出力先が動的に変化する業務や、細かな用紙制御が必要な連続紙印刷にも業務プログラムから柔軟に対応できます。このためオンラインでの伝票処理、電子帳票(PDF)出力、大量バッチ印刷など、さまざまな帳票出力シーンで活躍します。

XMAP3はさまざまなシステム環境に柔軟に対応できます。

クライアント・サーバーシステムによるオンライン業務の運用

クライアントにアプリケーションを配置しないサーバー集中型のクライアント・サーバーシステムを構築できます。この形態はメインフレーム業務のオープン化によく利用されています。COBOLアプリケーションや画面・帳票などの重要なリソースをサーバーで集中管理し、クライアント側で画面操作や帳票印刷ができます。また、

サーバーとクライアント間の転送データはオプションで圧縮できるため、ネットワークやLAN間の通信負荷の軽減に効果があります。さらに、クライアントPCをスマートフォンやタブレット端末からリモートアクセスできる製品と連携すれば、XMAP3画面をスマートデバイスでも操作できます。



分散トランザクションマネージャ「uCosminexus OpenTP1」との連携

クライアントが100台を超えるような大規模で高信頼なオンラインシステムを構築する場合には、分散トランザクションマネージャ「uCosminexus OpenTP1」と連携することで必要なリソース

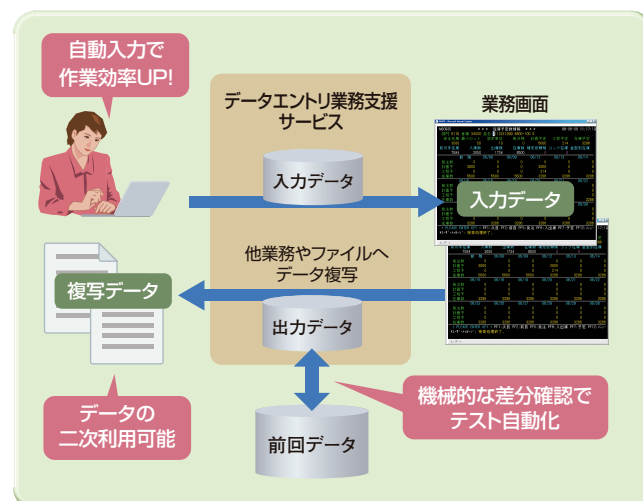
の共有化や常駐化などを行い、クライアント台数が増えても快適なレスポンスを維持できます。

データエントリ業務支援サービスの活用

データエントリ業務支援サービス*にてデータエントリ業務の効率化を図るための提案と技術支援を行います。本サービスを活用いただくことで以下のような運用が実現できます。

- 煩雑な入力作業を自動化することで入力業務を簡単にします。
- 他業務やファイルへのデータ複写を実現し複写データを二次利用できます。
- 属人的な入力作業や確認作業を自動化することでテストを自動化できます。

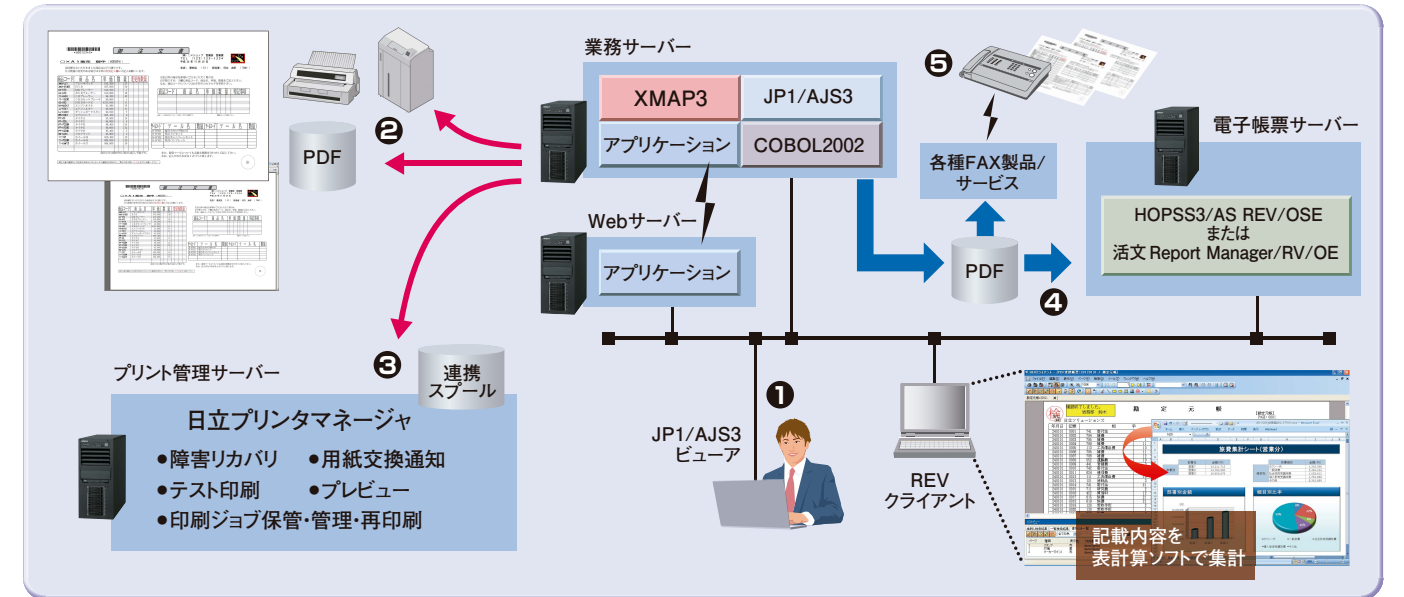
*データエントリ業務支援サービスはテクニカルサービスで提供するサービスです。



柔軟なバッチ帳票運用

XMAP3では、帳票をプリンターにもPDFファイルにも出力できます。出力した帳票は関連製品との連携により、お客さまの環境に

合わせた柔軟な帳票運用に対応します。また、各社シリアルプリンターへ用紙の排出・吸入を行うコマンドにも対応しています。



※活文 Report Manager/RV/OEは、HOPSS3/AS REV/OSEと同等製品で、株式会社日立ソリューションズの製品です。 JP1/AJS3:JP1/Automatic Job Management System 3

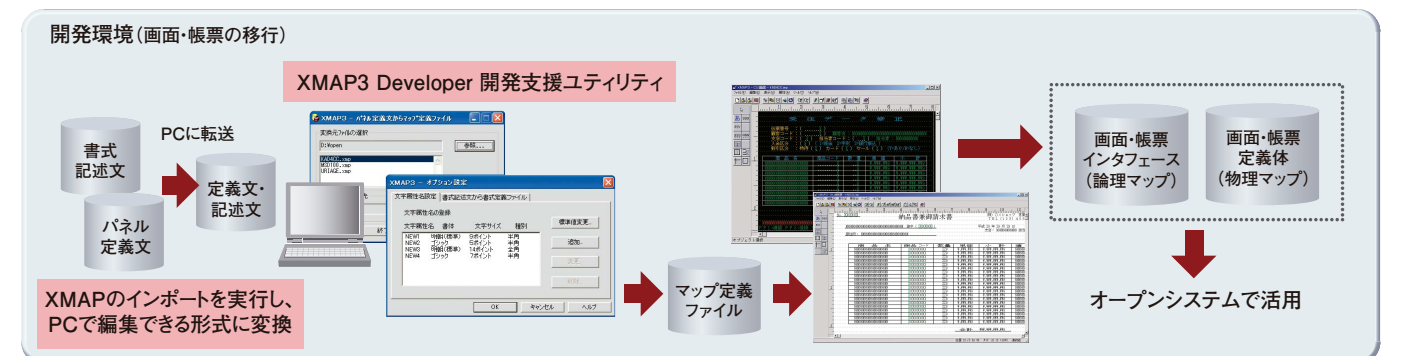
- ① JP1/AJS3を利用してバッチジョブはクライアントPCから起動・監視できます。
- ② 業務プログラムから帳票の出力先や出力形態を指示できます。
- ③ 日立プリンタマネージャと連携すると、用紙の交換指示や障害リカバリなどをプリント管理サーバーで操作できます。
- ④ PDF帳票を電子帳票サーバーのHOPSS3/AS REV/OSEに登録すると、帳票の分類や満期処理(保管期限をもとに帳票を削除)など管理の自動化、迅速な情報検索、表計算ソフトによる記載内容の集計・加工などが行えます。なお、PDFファイル名はプログラムからだけでなく環境変数で指定することもできます。
- ⑤ 各種FAX製品、サービスと連携すれば、PDF出力した帳票を取引先へ自動的にFAX配信できます。

メインフレーム業務のオープン化(レガシーマイグレーション)

メインフレーム資産であるパネル定義文や書式記述文をWindows対応に変換するインポート機能を提供しており、画面・帳票の移行が容易に行えます。必要に応じて画面をGUI化することも可能です。また、プログラムインターフェイスはCOBOL用の論理マップインタ

フェースを継承しているため、業務プログラムへの影響も少なくできます。さらに、ドローセットアップ機能により、マップ定義ファイルごとに動的変更イベント通知コードを設定することもできます。

GUI: Graphical User Interface

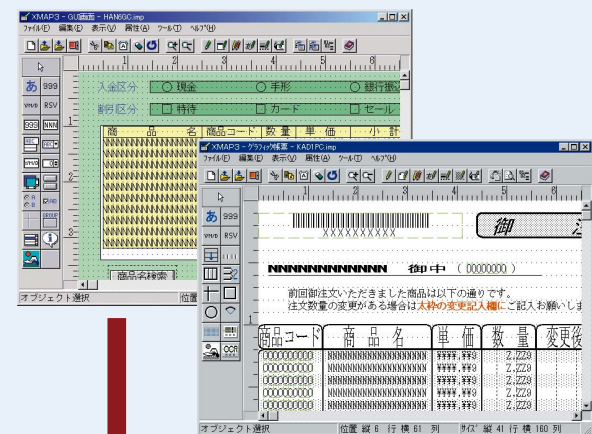


画面・帳票の定義から 表示・印刷、運用・保守まで、 XMAP3が トータルにサポートします。

XMAP3は、基幹業務で使われる画面や帳票の定義/作成から、表示/印刷、そして運用/保守までを一貫して支援するソフトウェアです。開発環境では、画面・帳票を定義すると、レイアウト定義体とプログラムインタフェースを分けて生成します。このためレイアウトとプログラムを独立して設計できます。実行環境のセットアップはGUI画面で行えるだけでなく、運用・保守を支援する便利な機能も備えており、運用・保守の効率化を実現します。

レイアウト設計

パターンや部品を登録するだけで、効率よくビジュアルにレイアウトを設計できます。また帳票定義を効率化するために、印刷済み帳票をスキャナで取り込み、画像を表示する下書き機能を提供しています。



画面・帳票定義が終了すると、レイアウト定義体である物理マップと、プログラムインタフェースである論理マップがファイルとして自動生成されます。

定義体
(物理マップ)

アプリケーション
インタフェースの
登録集原文
(論理マップ)

ソースコードの
形で自動生成

参照

プログラム開発

①アプリケーションパターンの利用

XMAP3が提供しているアプリケーションのパターンを取り込んでプログラムの大枠を作成します。

②インタフェースの取り込み

XMAP3が自動生成したアプリケーションインタフェース(論理マップ)を取り込み、XMAP3とプログラムでデータのやり取りができるようにします。

③ファイルと同様の感覚で画面・帳票入出力

画面や帳票の入出力は、論理マップを指数にして画面・帳票単位で行えます。イベント処理のためのスクリプトを記述する必要がないため、COBOLで効率よくプログラムを開発できます。

④ユーザー固有処理の作成

ユーザーに特化した業務ロジックをプログラミングします。

アプリケーション作成

①アプリケーションパターンの利用

②インタフェースの取り込み

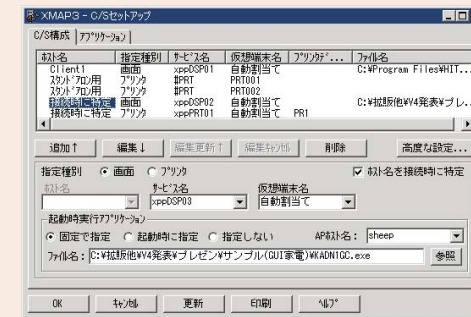
- ③ ファイルと同様の感覚で画面・帳票入出力
・SEND(画面・帳票の出力)
・RECEIVE(画面からのデータ入力)

④ユーザー固有処理の作成

運用環境の準備

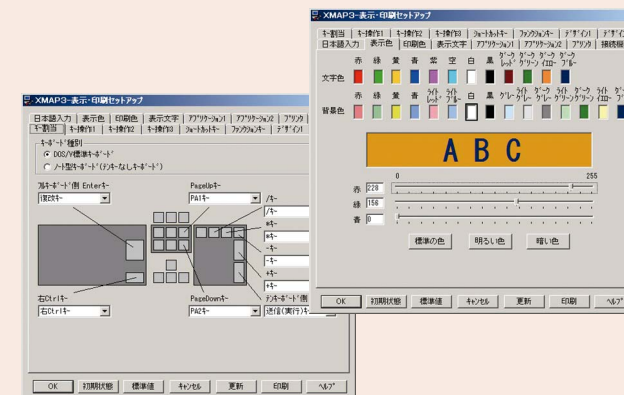
●クライアント・サーバーシステムの設定

クライアント・サーバーシステムを利用する場合、サーバー、クライアント、プリンターなどのアドレス設定は画面上のガイドに沿って容易に行えます(Windows版の場合)。本設定はサーバー側で実行します。



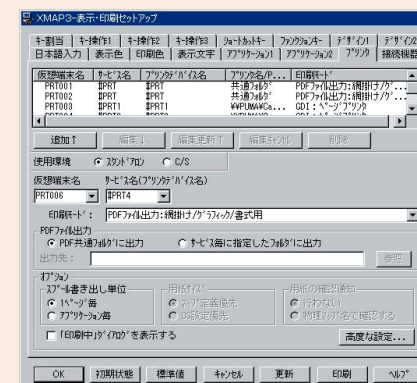
●表示・印刷セットアップ(表示用)

ディスプレイの精細度に応じて最適な文字サイズを自動的に選択できます。表示色も調整できます。またデータエントリ業務の操作性を向上させるために、EnterキーやTabキーを他のキーに割り当てたり、日本語入力の方式をカスタマイズしたりできます。



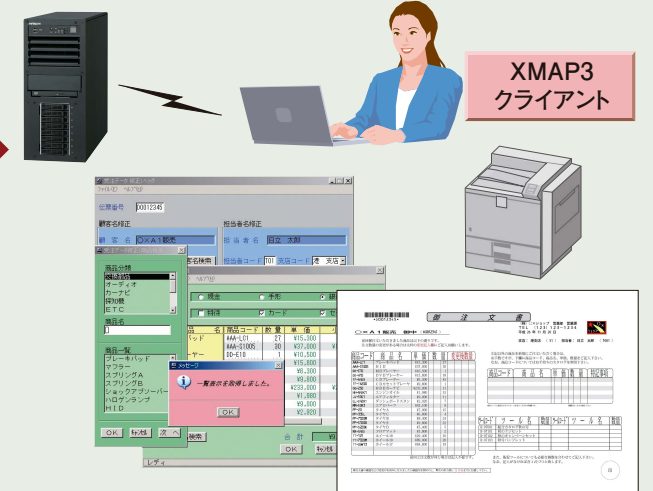
●表示・印刷セットアップ(印刷用)

帳票をPDFファイルに出力したり、PDLスルー印刷を行うなどの印刷モードの変更は、GUIのセットアップ画面で行えます。プリンターや印刷先が変更された場合でも、アプリケーションの変更は不要です。
PDL: Page Description Language



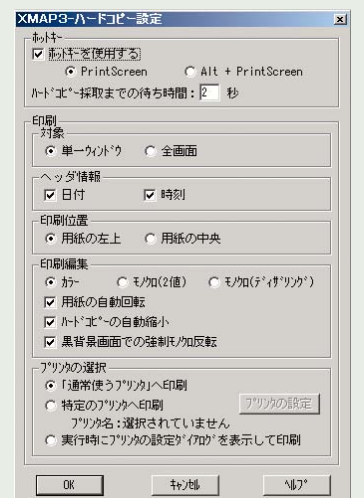
運用・保守

業務プログラム
XMAP3サーバ



●画面ハードコピー

表示中のXMAP3画面の内容は、必要に応じてプリンターに印刷することができます。そのため、運用中の画面トラブルや業務プログラムのデバッグに迅速に対処できます。



●ロギング支援

デバッグや性能チューニングのためにロギング情報を出力できます。また、統計情報として使用された画面(マップ)の数や表示先などを参照することもできます。

